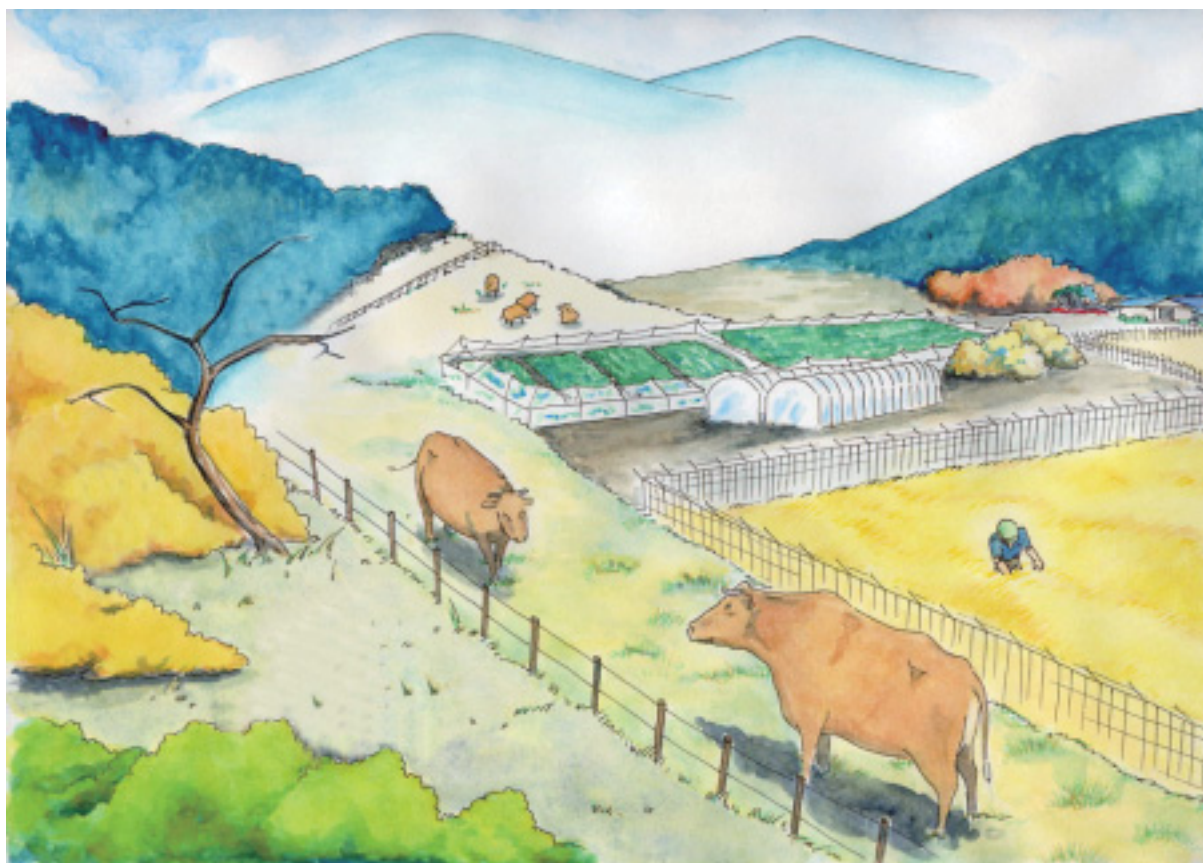


野生動物から田畑を守る！ 鳥獣被害対策防護マニュアル

～きちんと対策、きちんと防護～



徳 島 県

対策をおこなう前に

～これだけは知っておきたい野生鳥獣の基礎知識～

○はじめに ～相手を知ってきちんと対策～

動物は生きるのに必死で、おいしいえさである農作物には大変執着します。農地では、最初は警戒しますが、そのうち大胆にふるまうようになります。そうすると農作物がたくさんある人里は、大変良い“えさ場”となり、農作物を荒らしに出るようになります。

効果的な対策を行うには、相手のことをきちんと知ることが被害防止の第一歩です。相手のことをきちんと知って、きちんと対策し、きちんと被害をなくしましょう。

○ニホンザル ～群れで現れ、群れで荒らす～



寿命

20年前後で、長生きでも25年前後。

出産年齢

野生では6～7歳で出産できるようになる。
2～3年おきに1頭の子供を産む。

県内の分布

市街地周辺を除き、ほぼ県内全域に分布。

食べ物

雑食性で、果実や木の芽、葉など植物を中心に食べる。

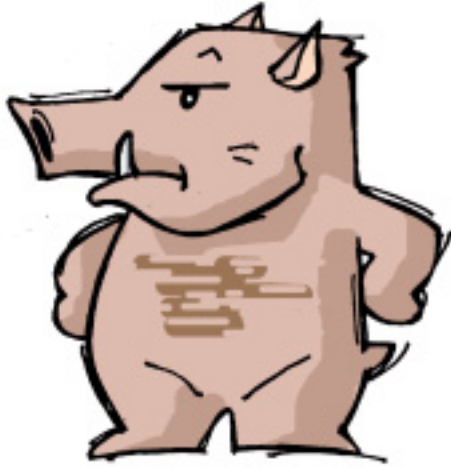
加害のしかた

サルは群れで暮らしています。しかし、いきなり群れで集落に出てきて、被害を出すのではなく、以下のパターンで被害が出るようになります。

- 第1段階 数頭のサルが集落の周辺に出没するようになる。
- 第2段階 そのサルたちが少しの農作物を取っていくようになる。
- 第3段階 サルの数が増えてきて、より農地の中心に出てくるようになる。
- 第4段階 群れで出てきて、人を恐れなくなり、そのうち人を威嚇するようになる。

農作物を食べたサルは、栄養状態が良くなることで4歳から出産し、子供を毎年産むようになります。そうすると群れが大きくなり、被害もより多く出るようになります。

○イノシシ ～ずぶとく見えて実は臆病～



寿命

5年前後で、長生きでも10年前後。子供の時に多く死亡するので、平均寿命は2年程度。

出産年齢

2歳程度で出産できるようになる。毎年、平均すると4.5頭の子供を産む。

県内の分布

市街地周辺を除き、ほぼ県内全域に分布。

食べ物

雑食性で、果実やどんぐり、たけのこなど植物を中心に食べる。



加害のしかた

イノシシは、オスは単独で、メスは子供をつれて行動します。猪突猛進のイメージがありますが、かなり臆病で、農地にでてくるのはおもに夜です。また、出てくるときも周囲をよく確認して、危険がないと分かると出てきます。

鼻の力が強く、60kg程度のものは持ち上げます。また、120cm程度はジャンプして飛び越えます。そのため、柵などが低かったり、すきまがあるとそこから侵入します。

○ニホンジカ ～植物ならなんでも食べる～



寿命

平均4年程度で、最長で15年程度

出産年齢

2歳で出産できるようになる。毎年1頭の子供を産む。

県内の分布

徳島市周辺を除き、ほぼ県内全域に分布。

食べ物

草食性で、植物ならほとんど何でも食べる。シカが食べた植物は1,000種類を超える。



加害のしかた

シカは最初のうち、農地周辺の草を食べているため、被害がないように思えます。しかし、農作物を少しずつ食べだし、そのうち被害が大きくなります。